

## 総括記録

司会者 それではただ今より、総括を行いたいと思います。

まず、各分散会場の司会者から、分散会の内容について報告をいただきたいと思えます。一学年分散会の司会者の方、よろしく願います。

《一学年分散会司会者報告：未記録のため掲載不可》

司会者 ありがとうございます。

続いて二学年分散会の司会者の方、よろしく願います。

二年① 吉野中学校から、「親とどのような話し合いをするのか」という意見が出ました。これに対して、昔親が苦しんだときの話や、学校で話し合っていることが出ました。「部落外の人がどのように思っているのか」という意見も出ました。

二年② 全体会のときに、先生に対してのことで、部落のことで話をしてくれるかということで、全員の先生がそうではないと思うという意見が出ました。

司会者 ありがとうございます。続いて三学年分散会Aの司会者の方、よろしく願います。

三年A 三年分散会Aではあまり意見が出なかったんです

が、自分が差別にあったときどう対応するかを話し合いました。「そういう考えは間違っている」と言うとか、

「まだちゃんと注意ができるかどうか分らないけどがんばりたい」という意見が出ました。もっとたくさんの方の意見が聞けたら良かったと思います。

司会者 ありがとうございます。続いて三学年分散会Bの司会者の方、よろしく願います。

三年B① 分散会Bではちよつと空気が重かったようで、あまり意見が出ませんでした。学校にこない人が出てきたという意見が出たので、それを議題にして話し合いました。いっぱい意見は出たんやけど忘れてしもうて、覚えてる中では、(仲間の)雰囲気をよくするという意見が出ました。それもまたどういう雰囲気を作ったらいのかということも議題になりました。

三年B② 司会をしていて、先輩とか先生とかにフォローをしていただいてどうもありがとうございます。

司会者 ありがとうございます。報告をしていただいたみなさんは降壇して、元の席に戻ってください。

まだ総括終了時刻までしばらく時間があるようなので、

付け加えるような内容や、発言し切れていないことがありましたら、この機会に発言お願いします。中学生以外の参会者の発言も結構ですので、よろしくお願いします。豊中中教員 豊中中学校の駒田といいますけど、昨年もの総括の際に同じことを言いました。徳島県の中学校の会に、香川県の私たちを温かく迎えていただいてどうもありがとうございました。

豊中中学校の状況なんです、一学年だいたい百四十名の生徒がいます。その中で学習会に参加している生徒は五名、ないしは多い学年で六名です。ですから非常にしんどい状況ではあるんですが、こういう機会を利用して、今日も分散会で何名かが発言できております。豊中中学校の同和問題学習の中で、人数はすくく少ないですが、今日ここに来た学習会参加の子どもたちが中心になって、豊中中学校の同和問題学習を進めていこうという契機になりました。また来年もぜひ参加をさせていたいただきたいなと思います。今年よりも来年はもっと主体的に「参加し、積極的な意見が言えるようにしたい」と思います。どうもありがとうございます。

司会者 ありがとうございます。前回の実行委員長をし

ていたM先輩どう思いますか。

高校生M 今回第二回ということで来さしてもらったんですけど、三年生のB分散会で仲間のことか学習会に来れてない子とかの話をしました。その中で雰囲気的にはあんまり意見が出る状態ではなかったんですけど、僕らも発言させてもらったし、みんなもそれに応えてくれたと思います。僕が分散会で言ったことなんですけど「With youともに燃やそう解放の炎」これをやっぱり今日この会が終わるまで、終わっても、これは頭に残しておいてほしいと思います。やっぱり自分から創ったスローガンで、スローガンを見ていると僕でも燃えてくるというか、やる気になるものだと思います。僕らもこれに参加したことを、真友会(板野町高校生友の会)で話をしたいし、また第三回、第四回と続けていってほしいと思います。それでこれを重ねていく度に、もっと多くの徳島県の中学校がこの会に参加してくるようになるの団結力というものをもっと高めていってほしいです。では隣にいるTさんに、パス。

高校生T Mさんから紹介していただいたTです。僕は第一回の中学生集会では、分散会の司会と各学校の学習会

の報告をさせてもらいました。今回は(中学生集会が)あるって聞いて昼からの参加になったんやけど、今日僕が来た目的というのは、僕は高校へ行って中学校でやってきた部落問題学習でがんばっていたのに、高校では自分がつぶれていって何してるんだらうという気がして、今日中学生に元気をもらおうつもりで参加しました。意見も言えましたし、自分にとつてすごく勉強にもなりました。やっぱり、仲間というのがほんとに大事になってくると思うんですよ。だから、今ここに来ているみんな仲間だと思ふから、絶対にみんな一人じゃないというのを分かっているほしいし、これからも第三回、第四回と続く度に人数も増えていったりして、会場も大きくなって、最後には郷土文化会館でできることを目標にみんながんばってください。替わります。

高校生M　ということで、今の関係を続けるために、この会が終わって、気軽に友達になろうって声かけていくことが、大事なことだと思ひます。第一回るときもそうやって、僕ら今高校に行ってるんですけど、つながれている部分があります。高校に入ったときに、「ああ、あの子中学生集会に来ったな」というところがあるのは自

分としても嬉しいし、支えになっています。その反面あの時はがんばってたのに、高校に入ったら全然会話を交わさないようになるというのもあるんですけど。そうならず、高校入ってもあの時みたいにもう一回がんばろうなとか言えるような、友の会とかで共に力を出し合えるような仲間づくりを、今からしていきたいと思います。僕らも話すし。まだまだめには早いけど、僕にとっては本当にプラスになった一日でした。

司会者　ありがとうございます。あともう少しだけ時間があるので、どなたか発言したい方は発表してください。板野中教員　板野中学校の阿部と申します。本集会をお世話させていただいた事務局の一人として簡単に今日の一日の感想を述べさせていただきます。お礼やら感想やらに換えさせていただきますと思います。こんなところから失礼します。まず今日生徒のみなさんは百十四名、同和教育関係者の方々が百三十名、合計二百四十四名の方が参加していただきました。朝早くから大変ご苦労さまでございます。香川県豊中、鶴尾中、長尾中、また県内各地西から東から南から北からというかたちでたくさんの方々が参加していただいて本当に嬉しく思います。今

日までこういうふうな会を運営するに当たってここまでがんばられてこれたのは、多くの方々の支え、また解放運動をされている解放同盟の方々のご指導ご助言、また県教委、県同教の方々のいろんな支援があつて今日まで来ております。

みなさん、今日の朝ここに来るときどうだったでしょうか。お家の人に「今日こういう会があるんだ。僕はこの会ががんばってくるぞ」という話が出来たでしょうか。ぜひとも今日帰ったらですね、今日のことをお家の人に話してですね、まずお家の人ときつちりとながり合おう、そのことが大事ではないかと思えます。

話は前後しますが、この集会が出来いきさつを簡単に述べておきます。一昨年ですね、板野中学校近辺、中部ブロックの各中学校の生徒さんと交流会を持ちました。そのときは約八十名くらいの方が集まってくれました。それで、なんでこういうことをする話が出てきたかという、板野中学校もそうだったのですが生徒のみなさんの中から「うちの学校だけで一生懸命、真剣にしよるけどそれでいいんだろうか」ということから「隣の学校の学習会に行っている仲間たちはどんなことを考えよんだ

ろう」また「遠いところの学習会はどんなだろう」そういう仲間たちと学習会や部落問題について話をしたいというのが最初のきっかけだったと思えます。それで学習会の話を突き詰めていくことによって、前に座っておられる永井議長さんとかですね、なんで学習会ができたかという話からまたしっかり考えていかんとあかんなどということになったわけです。そして、願いや思いだけで学習会が出来たんだろうか。願いや思いだけで差別がなくなるんだろうか。僕たち、私たちにできることはなんだろう、ということでも県内の先生方に呼びかけて一回集まって今の学習会を根本から見直してみようじゃないか、また各学校の部落問題学習や同和教育をもう一度根本から見直す機会を作らんかということ、今年第二回目ということではいろんな方の協力を得て実施することになりました。どうか先生、生徒のみなさん、今日の目的のひとつであります「部落差別の解消に向け、自らの地域や学校での実践・活動を交流し合うことにより」次の文だと思ふんですが、「部落解放運動の担い手としての自覚を高めよう。」我々が何を担っていかないといけないのかということを、これからしっかりと考えて

いかなければならないと思うんです。

もうひとつは「学習会の仲間の連帯を強化し、主体的に部落解放に取り組もう」ということですが、呼びかけられてから参加するのではなしに、「本当に今日参加して良かった。また今日をきっかけにして、僕にできることはなんだろう。私にできることはなんだろう」ということを、明日からそれぞれの活動・運動にむけてそれぞれの地域でがんばっていただけたらなと思います。

さつき高校生の二人の人たちが言ってくれましたが、本当に二人の高校生の意見が本日の最後のまとめになっただんではないかと思えます。本当に今日をきっかけとして、来年は郷土文化会館というもうひとつ大きな会場があります。そこでできるように、先生方、運動団体そして関係者のみなさまとともに部落問題を解決するために歩んでいきたいと思えます。本日はたくさん朝早くから集まっていたいただいて本当にありがとうございます。来年会えることを楽しみにしております。

司会者 ありがとうございます。それではこの後引き続いて、閉会行事にうつらせていただきたいと思います。準備ができるまでの間、しばらくお待ちください。